

鳥取縣公報

縣令

第 千 五 十 五 號

昭和十四年八月十五日

火曜日

本書ノ大キサ國定規格A5判

鳥取縣令第十九號

鳥取縣受註幹旋品検査規則左ノ通定ム

昭和十四年八月十五日

鳥取縣知事

副

見

喬

雄

鳥取縣幹旋受註幹旋品検査規則

第一條 鳥取縣ノ受註幹旋ニ依リ製造若クハ加工ヲ爲シタル製品ハ本則ニ依リ検査ヲ受クルニ非ラサレハ納入スルコトヲ得ス

検査ヲ要スル品目ハ別ニ之ヲ定ム

第二條 検査ヲ受ケントスル者ハ第一號様式ニ依ル検査申請書ヲ知事ニ提出スヘシ

第三條 検査ハ申請書記載ノ場所ニ於テ検査員之ヲ行フ但必要アリト認ムルトキハ検査ノ場所ヲ指定スルコトヲ得

第四條 検査申請者又ハ其ノ代理人ハ検査ニ立會ヒ検査員ノ指揮ニ從フヘシ

第五條 検査ノ爲必要アリト認ムルトキハ検査申請者ヲシテ検査ニ要スル機械器具又ハ勞務ヲ提供

鳥取縣公報

毎週曜日發行

(休日ニ當ル)

昭和十四年八月十五日

昭和四年四月十五日

一

火金曜日發行 (休日ニ當ル) 昭和十四年八月十五日 (第三種郵便物認可)

セシムルコトヲ得

第六條 検査申請者ニシテ不都合ノ行爲アリト認めタルトキハ検査ヲ拒絶スルコトアルヘシ

第七條 検査済品ハ之ヲ合格及不合格ニ分チ別記第二號様式ニ依ル検査證印ヲ爲ス但必要アル場合ハ證印ヲ押捺シタル附札ヲ以テ検査證印ニ代ルコトアルヘシ

第八條 發註者ノ作製ニ係ル仕様書ノ内容ニ該當セサルモノハ之ヲ不合格トス

第九條 検査申請者ハ製品ニ對スル收入價格ノ百分ノ二ニ相當スル検査手数料ヲ納付スヘシ

第十條 製品ノ種類受註者ノ狀況其他特別ノ事由アルモノニ對シテハ検査手数料ヲ減免スルコトアルヘシ

前項ノ減免ニ付イテハ其ノ都度之ヲ決定ス

附 則

本令ハ昭和十四年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式 「用紙美濃紙」

受註品検査申請書

番契	約	品	名	數量	金	額	受註先	場	受	所	製	作	工	場	備	考

右製作完了候ニ付御検査相成度此段及申請候

年 月 日

何々組 氏

名印

殿 理事 長

鳥取縣知事

檢 査 證 印

(一)

鳥

鋼 鐵 直 徑 三 耗 五 耗 七 耗 ノ 三 種 ト シ

(二)

鳥

製 品 ノ 大 小 ニ 依 リ 適 宜 使 用 ス

鳥

ゴ ム 印 直 徑 十 三 耗 二 十 耗 ノ 二 種 ト シ

鳥

製 品 ノ 大 小 ニ 依 リ 適 宜 使 用 ス

(三) 表

契購 約買 番 號

品 名

數 量

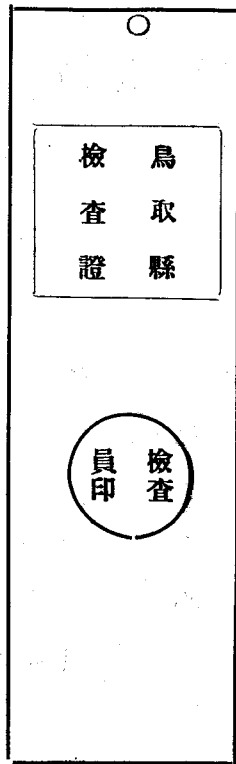
檢 査 概 況

紙 製

縱 百 耗

橫 五 十 五 耗

裏



檢 査 證

縱 二 十 耗

橫 三 十 耗

檢 査 員 印

ゴ ム 印

(一) 檢 査 員 印

鋼 鐵 製 刻 印 直 徑 三 耗 ノ 中 ニ 檢 査 員 姓 頭 文 字

一 字 ヲ 片 假 名 ニ テ 示 ス

(一) ゴ ム 印 直 徑 十 三 耗 ノ 中 ニ 檢 査 員 姓 頭 文 字

一 字 ヲ 片 假 名 ニ テ 示 ス

告 示

鳥取縣告示第五百十二號

軍馬資源保護法施行規則第十六條ニ依ル檢定手續第三ノ馬申告票ヲ提出スベキ期日及區域左ノ通定ム

昭和十四年八月十五日

鳥取縣知事 副 見 喬 雄

期 日 郡 名 町 村 名

九月二十日 氣 高 郡

寶木村、酒津村、瑞穂村、鹿野町、勝谷村、逢坂村、小鷺河村、正條村、青谷町、日置谷村、中郷村、勝部村

鳥取縣告示第五百十三號

米穀現在高調査員左ノ通囑託解囑アリタリ

昭和十四年八月十五日

鳥取縣知事 副 見 喬 雄

囑 託 者 解 囑 者 擔 當 區 域 調 査 職 務 執 行 ノ 場 所 囑 託 解 囑 日

山 根 永 吉 花 房 三 男 氣 高 郡 湖 山 村 氣 高 郡 湖 山 村 役 場

八 月 十 八 日

八木 仁	松本郡司	氣高郡鹿野町	氣高郡鹿野町役場	同
北島 節		氣高郡日置谷村	氣高郡日置谷村役場	同
松村勝美	山本源造	氣高郡東鄉村	氣高郡東鄉村役場	同
	小關正治	東伯郡倉吉町	東伯郡倉吉町役場	同

◆鳥取縣告示第五百十四號
 岩美郡岩井町耕地整理組合設計變更ノ件認可セリ
 昭和十四年八月十五日

鳥取縣知事 副 見 喬 雄

◆鳥取縣告示第五百十五號
 昭和十二年十一月鳥取縣令第四十九號「トラホーム」豫防法施行細則第三條ニ基キ左記區域一部ノ住民ニ對シ左記日時場所ニ於テ「トラホーム」檢診ヲ施行ス
 昭和十四年八月十五日

鳥取縣知事 副 見 喬 喬

日	時	區 域	檢 診 ノ 場 所	檢 診 ヲ 受 者
自 昭和十四年八月十六日 午前八時		氣高郡 瑞穂村	瑞穂尋常小學校	昭和十三年四月一日
至 午前十一時				

自 昭和十四年八月十六日 午後一時	酒津村	酒津尋常小學校
至 午後三時		
自 昭和十四年八月十七日 午前九時	日置谷村	日置谷尋常小學校
至 午後十二時		
自 昭和十四年八月十七日 午後一時	中鄉村	中郷尋常小學校
至 午後三時		
自 昭和十四年八月十八日 午前九時	逢坂村	逢坂尋常小學校
至 午後三時		
自 昭和十四年八月二十一日 午前九時	勝谷村	勝谷尋常小學校
至 午後十一時		
自 昭和十四年八月二十二日 午後一時	小鷲河村	小鷲河尋常小學校
至 午後三時		
自 昭和十四年八月二十二日 午前十一時	河内分教場	河内分教場
至 午後一時		
自 昭和十四年八月二十三日 午前九時	東伯郡 宇野村	宇野尋常小學校
至 午後十一時		
自 昭和十四年八月二十三日 午後三時	橋津村	橋津尋常小學校
至 午後三時		

以降ニ出生シタル者

自 至	年八月二十四日 午前八時	淺津村	淺津尋常小學校
自 至	年八月二十四日 午後二時	舍人村	舍人尋常小學校
自 至	年八月二十五日 午前八時	西郷村	西郷尋常小學校
自 至	年八月二十五日 午後一時	西郷村	西郷高等小學校

鳥取縣告示第五百十六號

市街地建築物法施行細則第二十五條ニ依リ左ノ通假設建築物建築ノ件許可セリ
昭和十四年八月十五日

- 鳥取縣知事 副 見 喬 雄
- 一 建築主ノ住所氏名 鳥取市東品治町五十七番地ノ六
 - 一 建築物ノ所在地 西 山 重 幸
 - 一 用途 鳥取市東品治町五十七番地ノ六
 - 一 構造種類 店 木造瓦葺二階建
 - 一 建築物ノ面積 建築面積 一五、九六〇平方米
突出セル部分 八、七四〇〃
 - 一 命令事項 一 本建築物ノ存續期限ハ都市計劃事業實施ニトス

鳥取縣告示第五百十七號

昭和十四年五月二十一日執行鳥取市會議員選舉ニ於テ議員候補者ノ要シタル選舉運動ノ費用精算額左記ノ通各選舉事務長ヨリ届出タリ

昭和十四年八月十五日

鳥取縣知事 副 見 喬 雄

- 一 前項ノ存續期限満了ノ時ハ都市計劃事業實施者ノ指定スル期限内ニ無償ニラ本建築物ヲ除却スベシ
 - 一 本建築物ヲ他人へ讓渡シタル場合ハ十日以内ニ届出ツベシ
 - 一 知事必要アリト認ムルトキハ本命令書ノ條項ヲ増減若ハ變更スルコトアルベシ
- 鳥取縣知事 副 見 喬 雄
- 昭和十四年五月二十一日
- 一 選舉ノ期日 松 ノ 谷 東 吉
 - 一 議員候補者ノ氏名 松 ノ 谷 東 吉
 - 一 精算届出ヲ爲シタル選舉事務長ノ氏名 松 ノ 谷 東 吉
 - 一 支出總額 金參拾參圓六拾九錢
 - 一 選舉事務長ノ支出ノタル額 金參拾參圓六拾九錢
 - 一 選舉事務長ノ承諾ヲ得テ支出シタル額 金ナシ
 - 一 議員候補者選舉事務長又ハ選舉委員ニ非サル者ノ支出シタル額 金ナシ
 - 一 立候補準備ノ爲支出シタル額 金ナシ
 - 一 支出明細

(一)	報 酬	金 ナ ン
(二)	勞 務 者	金 ナ ン
(三)	家 屋 費	金 壹 圓
(四)	選舉事務所 集會々々場	金 ナ ン
(五)	通 信 費	金 拾 七 圓 拾 九 錢
(六)	船 車 馬 賃	金 ナ ン
(七)	印 刷 費	金 拾 五 圓
(八)	廣 告 費	金 ナ ン
(九)	筆 墨 費	金 五 拾 錢
(十)	休 泊 費	金 ナ ン
(十一)	飲 食 物 費	金 ナ ン
(十二)	雜 費	金 ナ ン
計	金 參 拾 參 圓 六 拾 九 錢	
一	選舉ノ期日	昭 和 十 四 年 五 月 二 十 一 日
一	議員候補者ノ氏名	河 毛 市 治
一	精算届出ヲ爲シタル選舉事務長ノ氏名	河 毛 市 治
一	支出總額	壹 壹 百 七 拾 七 圓 七 拾 七 錢
(一)	選舉事務長ノ支出シタル額	金 壹 百 七 拾 七 圓 七 拾 七 錢

(一)	報 酬	金 參 拾 參 圓
(二)	勞 務 者	金 參 拾 參 圓
(三)	家 屋 費	金 拾 五 圓 七 拾 七 錢
(四)	選舉事務所 集會々々場	金 參 圓
(五)	通 信 費	金 拾 八 圓
(六)	船 車 馬 賃	金 拾 五 圓
(七)	印 刷 費	金 六 拾 六 圓
(八)	廣 告 費	金 ナ ン
(九)	筆 墨 紙 費	金 ナ ン
(十)	飲 食 物 費	金 ナ ン
(十一)	休 泊 費	金 ナ ン
(十二)	雜 費	金 ナ ン
計	金 壹 百 七 拾 七 圓 七 拾 七 錢	
一	選舉ノ期日	昭 和 十 四 年 五 月 二 十 一 日
(一)	選舉事務長ノ承諾ヲ得テハ出シタル額	金 ナ ン
(二)	議員候補者選舉事務長又ハ選舉委員ニ 非ザル者ノ支出シタル額	金 ナ ン
(三)	立候補準備ノ爲ニ支出シタル額	金 ナ ン
(四)	支出明細	金 參 拾 參 圓
(一)	報 酬	金 參 拾 參 圓
(二)	勞 務 者	金 參 拾 參 圓
(三)	家 屋 費	金 拾 五 圓 七 拾 七 錢
(四)	選舉事務所 集會々々場	金 參 圓
(五)	通 信 費	金 拾 八 圓
(六)	船 車 馬 賃	金 拾 五 圓
(七)	印 刷 費	金 六 拾 六 圓
(八)	廣 告 費	金 ナ ン
(九)	筆 墨 紙 費	金 ナ ン
(十)	飲 食 物 費	金 ナ ン
(十一)	休 泊 費	金 ナ ン
(十二)	雜 費	金 ナ ン

一 議員候補者ノ氏名	河合	元義
一 精算届出ヲ爲シタル選舉事務長ノ氏名	河合	元義
一 支出總額	金四拾圓六錢	
(一) 選舉事務長ノ支出シタル額	金四拾圓六錢	
(二) 選舉事務長ノ承諾ヲ得テ支出シタル額	金ナシ	
(三) 議員候補者選舉事務長又ハ選舉委員ニ非ザル者ノ支出シタル額	金ナシ	
(四) 立候補準備ノ爲ニ支出シタル額	金ナシ	
一 支出明細		
(一) 報 酬	金ナシ	
(二) 勞 務 者	金ナシ	
(三) 家 屋 費	金五圓	
選舉事務所	金五圓	
集會々場	金ナシ	
(四) 通 信 費	金拾四圓六拾八錢	
(五) 船 車 馬 費	金ナシ	
(六) 印 刷 費	金拾八圓四拾錢	
(七) 廣 告 費	金ナシ	
(八) 筆 墨 紙 費	金壹圓五拾八錢	

一 議員候補者ノ氏名	野崎	鹿藏
一 精算届出ヲ爲シタル選舉事務長ノ氏名	野崎	鹿藏
一 支出總額	金八拾壹圓參拾錢	
(一) 選舉事務長ノ支出シタル額	金八拾圓九拾錢	
(二) 選舉事務長ノ承諾ヲ得テ支出シタル額	金ナシ	
(三) 議員候補者選舉事務長又ハ選舉委員ニ非ザル者ノ支出シタル額	金ナシ	
(四) 立候補準備ノ爲ニ支出シタル額	金四拾錢	
一 支出明細		
(一) 報 酬	金ナシ	
(二) 勞 務 者	金ナシ	
(三) 家 屋 費	金參圓六同錢	
選舉事務所	金參圓六拾錢	
集會々場	金ナシ	
(八) 休 泊 費	金ナシ	
(九) 飲 食 物 費	金ナシ	
(十) 雜 費	金四拾錢	
計	金四拾圓六錢	
一 選舉ノ期日	昭和十四年五月十一日	

- (三) 通信費 金四拾九圓
- (四) 船車馬費 金ナシ
- (五) 印刷費 金貳拾參圓九拾五錢
- (六) 廣告費 金ナシ
- (七) 筆墨紙費 金五拾錢
- (八) 休泊費 金ナシ
- (九) 飲食物費 金ナシ
- (十) 雜費 金四圓貳拾五錢

計 金八拾壹圓參拾錢

一 選舉ノ期日 昭和十四年五月二十一日

一 議員候補者ノ氏名 田中 岩藏

一 精算届出ヲ爲シタル選舉事務長ノ氏名 田中 岩藏

一支出總額 金壹百五拾八圓拾七錢

(一) 選舉事務長ノ支出シタル額金 金壹百五拾八圓拾七錢

(二) 選舉事務長ノ承諾ヲ得テ支出シタル額 金ナシ

(三) 議員候補者選舉事務長又ハ選舉委員ニ非ザル者ノ支出シタル額 金ナシ

(四) 立候補準備ノ爲ニ支出シタル額 金ナシ

一支出明細

- (一) 報酬 金參拾圓
- (二) 家屋費 金參拾圓
- 選舉事務所 金六圓
- 集會々場 金ナシ
- (三) 通信費 金六拾圓
- (四) 船車馬費 金ナシ
- (五) 印刷費 金參拾六圓五拾錢
- (六) 廣告費 金ナシ
- (七) 筆墨紙費 金四拾貳錢
- (八) 休泊費 金ナシ
- (九) 飲食費 金貳拾圓貳拾五錢
- (十) 雜費 金五圓

計 金壹百五拾八圓拾七錢

◆鳥取縣告示第五百十八號

鳥取財務出張所管内ニ於ケル左記ノ者ニ對シ縣稅檢査證返納並ニ交付セリ

昭和十四年八月十五日

鳥取縣知事 副 見 喬 雄

區分	年月日	番號	所屬廳	職名	氏名
返納	昭和十四年六月十四日	四	鳥取市役所	書記補	中川正一
交付	昭和十四年六月十六日	四	鳥取市役所	書記	森本常吉

◆鳥取縣告示第五百十九號

昭和十四年八月十日縣參事會ノ議決ヲ經タル昭和十四年度鳥取縣歲入歲出追加更正豫算同年度特別會計教育資金歲入歲出追加豫算同年度特別會計罹災救助基金歲入歲出追加豫算ノ要領左ノ通

昭和十四年八月十五日

鳥取縣知事

副

見

喬

雄

昭和十四年度鳥取縣歲入歲出追加更正豫算

歲

入

△印減高

經常部

第九款

都市計畫特別稅

一、〇四二圓

第一款

營業收益稅割

一、〇四二

第十一款

但シ營業收益稅豫算金高五万二千一百四十八圓本稅一圓ニ付金二錢

四〇〇

四〇〇

第十二款 國庫下渡金 四〇〇
 第一款 警察費下渡金 三六六
 第十三款 雜收 八、九九四
 第八項 過年度收入 八、九九四
 歲入經常部計 一〇、八〇二
 臨時部 一〇、八〇二

第一款 綠越部 二七、七八五圓
 第一款 前年度繰越金 △一七、七八五

第二款 國庫補助金 二、三八〇
 第三款 教育補助金 二、二八〇

第五項 勸業補助金 一〇〇
 第三款 寄附金 一、八五〇

第一項 土木費寄附金 一、〇〇〇
 第三項 勸業費寄附金 一、〇〇〇

第四款 運業費用 一四、〇〇〇
 第一項 特別會計運用金 一四、〇〇〇

第八款 縣債 一三、八〇〇
 第一項 縣債 一三、八〇〇

第一項 縣債 一三、八〇〇

第九款	國庫交付金	八六、四五〇
第一項	歲入臨時部計	八六、四五〇
歲入	合計	九〇、六九五
第一項	神	一、八六〇圓
第二項	供進	三六〇
第九款	勸業	一、五〇〇
第十六項	都市計畫	二〇〇
第十二款	都市計畫	二〇〇
第一項	都市計畫地方委員會費	一、〇四二
第十六款	財產	一、〇四二
第一項	維持	三〇〇
歲出	經常部計	三〇〇
第一項	臨時	三、四〇二
第一款	土木	三、八五〇圓
第二款	治水	三五〇
第三項	道路	八五〇
第三款	越	三、〇〇〇
第一項	繰入金	三、〇〇〇

第二款	教育	五〇〇
第五項	師範學校費	五〇〇
第十款	教育補助費	二、二八〇
第一項	縣職員費	二、二八〇
第三十四款	縣職員費	五、〇〇〇
第一項	勸業	一、八〇〇
第四項	防空費	一、〇〇〇
第五項	防費	二、二〇〇
第四十七款	軍事扶助費	二、七五〇
第一項	軍事扶助費	二、七五〇
第四十九款	雜項	二、七五〇
第一項	過年度返納金	一、一五〇
第五十七款	軍事援助費	一、一五〇
第一項	軍事援助費	六四、七〇〇
歲出	臨時部計	六四、七〇〇
歲出	合計	九八、〇九五
昭和十四年度特別會計教育資金歲入歲出追加豫算		一〇一、四七九
第三款	繰入金	一四、〇〇〇
第一項	繰入金	一四、〇〇〇

歲入	合計	出	一四、〇〇〇			
第五款	運	金	一四、〇〇〇			
第一項	一般會計運用金	出	一四、〇〇〇			
歲出	合計	一四、〇〇〇				
昭和三十四年度特別計會計罹災救助基金歲入歲出追加豫算						
第四款	元	資	受	入	金	一三、八〇〇
第一項	元	資	受	入	金	一三、八〇〇
歲入	合計	一三、八〇〇				
第五款	貨	出	金	一三、八〇〇		
第一項	貨	出	金	一三、八〇〇		
歲出	合計	一三、八〇〇				

彙報

現下ガソリン代用其他工業用木炭ノ増産ノ急務ナル折柄大日本木炭協會ニ於テハ廣島縣山林會ト共同主催ノ下ニ左ノ通り木炭講習會ヲ開催セラル、ニ附受講希望者ハ來ル八月二十日迄ニ申込書ヲ鳥取縣林産物検査所ニ差出サレ度シ

第十五回全國木炭講習會概要

會期 昭和十四年九月一日ヨリ九月三十日迄三十日間
會場 廣島縣比婆郡八針村字三ノ宮
課目 縣立公園道後山
連通式製炭窯
ガソリン代用製産窯
尋常小學校卒業以上
全課目修了者ニハ修了證書ヲ交付ス
講習料不要 但シ旅費宿泊料其ノ他ハ自辨トス(壹泊一四五十錢三食付)
宿泊所 縣立公園道後山 山ノ家
申込様式

生年月日 氏名(印)
現住所 年 月 日生
官職々乘 郡 村 大字
申込月日 昭和十四年 月 日

通 牒

發社第五一號

昭和十四年八月二日

市 町 村 長 殿

學 務 部 長

軍事扶助法ニ該當セザル軍人遺家族ノ援護ニ關スル件

今次事變ニ當リ入隊又ハ應召軍人ノ家族遺族ニ對スル援護事業ニ關シテハ事變當初ヨリ格段ノ御配意相成居候處本年度モ前年同様援護事業ヲ實施シ一層之カ徹底ヲ圖リ以テ其ノ完壁ヲ期シ度ニ付客年八月二十日付發社第四二五號通牒御了知ノ上遺憾ナキヲ期セラレ度此段及通牒候

受社第八、六六二號

昭和十四年八月二日

市 町 村 長

學 務 部 長

市町村産業組合長

市町村農會長

殿

傷痍軍人採用方ニ關スル件

傷痍軍人採用方ニ關シテハ豫テヨリ夫々御配意中ノコトト存候處近來陸海軍病院ヨリ退院スルモノ

漸次増加シ其ノ傷痍モ重度ノモノ多ク傷痍軍人雇傭問題ハ益々重要性ヲ加ヘツアルニ鑑ミ官衙作業廳ニ於テモ銳意之ガ雇傭ニ努メ居候ニ付テハ左記事項ニ依リ之ガ實施ニ付一層御配意相煩度

記

- 一、市町村其ノ他ノ公共團體ニ於テハ傷痍軍人ヲ能フ限り多數採用スルコト
- 二、應召又ハ入營前在職シタル者ハ特ニ支障ナキ限り之ヲ從前ノ地位ニ復歸セシムルハ勿論ナルモ更ニ進ンデ欠員ヲ生ジタルトキ又ハ新ニ人ヲ採用スル場合傷痍軍人ノ優先採用ニ關シ能フ限り各種ノ配意ヲナスコト
- 三、採用ニ當リテハ能フ限り其ノ條件ヲ緩和シ資格及能力ニ應ジテ採用スルコト
- 四、身體的機能ノ欠陥アルモ職務ニ堪フル程度ノモノナルトキハ能フ限り採用スルコト
- 五、採用ニ當リ職業再教育若クハ作業方法又ハ作業設備等ノ改良ヲ必要トスルモノアルトキハ能フ限り其ノ方途ヲ講ズルコト

受社第八、九二〇號

昭和十四年八月二日

學務部長

市町村長殿

徵用ニ關スル事務ヲ執行スル爲要スル費用支辨ニ關スル件

徵用令書、出頭變更令書又ハ徵用取消令書交付ニ關シ特ニ使丁ノ備入ヲ必要トスル場合ニ於テハ昭和十四年七月十一日厚生省令第二十號徵用ニ關スル事務ヲ執行スル爲要スル費用支辨方ニ關スル件第一條ノ規定ニ依リ令書交付ニ關シ接必要ナル使丁ノ金ハ一日貳圓ヲ標準トシ軍ノ召集令狀交

付ノ場合ニ準ジ措置相成度此段及、牒候

受商第四、一一九號

昭和十四年八月三日

經濟部長

市町村長殿

銅鉛錫等配給統制規則施行ニ關スル件

昭和十三年二月一日附受秘第七一號及昭和十四年六月八日附受商第三、〇四七號ヲ以テ標記ノ件及通牒置候處右ハ今回更ニ改正ノ上(七月十五日附官報參照)故鉛故亞鉛等ニ付テモ統制實施セララルコトト相成候條御了承ノ上之カ圓滑ナル運用ニ充分協力相成度此段及通牒候追而本則施行上ニ付テハ左記ニ留意相成ト共ニ故鉛故亞鉛等ノ統制ハ大畧別記要綱ニヨリ實施可相成ニ付申添候

(左記省略)

受商第四、三二七號

昭和十四年八月五日

經濟部長

市町村長殿

商工會(會議所)會頭

皮革使用制限規則及皮革配給統制規則改正ニ關スル件

統制實施ノ實情ニ鑑ミ今般商工省令第三十七號及同第三十八號(昭和十四年七月二十五日附官報參照)ヲ以テ標記ノ件改正昭和十四年八月一日ヨリ施行セラルルコトト相成候條右御了知ノ上貴部内關係業者ニ對シテモ之ガ周知徹底ヲ圖ルト共ニ同則運用ノ適正ヲ期セラルル様可然御措置相成度此段及通牒候

受商第三、六六七號

昭和十四年八月五日

經濟部 長

市 町 村 長 殿

纖維工業設備ニ關スル件施行ニ關スル件

七月一日附受商第三、六六七號ヲ以テ標記ノ件及通牒置候處之ガ許可ニ關シ同通牒第五項各號ニ該當スルモノノ外更ニ左記各號ノ一ニ該當ノ場合モ許可相成ニ付御了承ノ上可然措置相成度此段及通牒候

追而同通牒第五項口中「臨時資金調整法第四條」トアルハ「臨時資金調整法第四條ノ二」ノ誤ニ付訂正相成度申添候

記

- 一、國內向品ノ製造ヨリ輸出用ノ品製造ニ轉換スル場合ニシテ生産能力ノ増大セザル範圍内ニ於ケル小巾織機ニ變更セントスルトキ此ノ織合ニ於テハ小巾織機ハ之ヲ廢棄セシム
- 二、同一企業ニ屬スル設備ヲ當該企業組織内ニ於テ移轉スルトキ
- 三、營業讓渡ニ依リ設備ヲ讓受ストキ

00394

發時第三七號

昭和十四年八月八日

鳥取縣總務部 長

市 町 村 長 殿

廢品回收並一戸一品獻納運動ニ關スル件

現下ノ物資需給ノ事情ニ鑑ミ重要物資ノ廢品回收量ノ増大ヲ圖ルノ必要益々緊切ナルモノアリト被存候折柄今回鳥取縣廢品回收懇話會ニ於テハ物資活用並消費節約ノ基本方策ニ基キ鳥取縣廢品回收運動實施要綱(要綱ハ七月二十四、二十五日ノ市町村長會提出參考資料トシテ添付ノ通決定)ヲ決定致シ候ニ付此際右要項ニ基キ至急具體的市町村廢品回收實施計畫ヲ樹立シ機構ノ強化ヲ計ルコトト相成候ニ付此際右要項ニ基キ至急具體的市町村廢品回收實施計畫ヲ樹立シ機構ノ整備ヲ圖リ以テ各種團體ノ活動ヲ促進シ一段ノ實績ヲ舉グル様努力相成度右依命及通牒候也
追而今回市町村廢品回收實施計畫樹立ノ第一着手トシテ別紙ニ依リ來ル十五日ヲ期シ一戸一品獻納運動ヲ實施シ以テ新機構ノ活動ヲ圖リ度候ニ付各廢品回收實踐單位ヲ中心ニ各種團體ヲ總動員シテ全力ヲ注ギ所期ノ目的達成ニ努力相成度又計畫ノ樹立方法及一戸一品獻納運動ニ付テハ近ク事務主任者會議開催ノ豫定ニ付合置カレ度爲念

受社第九、一九二號

昭和十四年八月八日

學務部 長

市 町 村 長 殿

軍事保護院療養所並職業補導所入所手續ニ關スル件

本年一月十七日附傷痍軍人岡山療養所開所ニ關スル件並本年三月十八日附傷兵保護院職業補導所ニ關スル件通牒中療養所入所規程第二條第二項第一號並補導所規程第三條第一號及第四條ニ定ムル退職者ナルコトノ證明書ハ昭和十四年六月七日勅令第三百六十號軍人傷痍記章授與臨時特例第二條ノ規程ニ依ル軍人傷痍記章臨時授與證書(表面)寫ヲ以テ之ニ代ヘ差支無キコトニ決定相成候ニ付御了知相成度尙同趣意ニ基キ本年二月二日付傷痍軍人職業再教育施設(縣營)ニ關スル件通牒中再教育要項第二項第一號ニ規程スル證明書ニ關シテモ同様差支無キコトニ決定致候條御了承ノ上各關係者ニ此ノ旨周知セシメ以テ傷痍軍人ノ保護指導ニ遺憾ナキヲ期セラレ度候

昭和十四年八月十五日印刷
昭和十四年八月十五日發行

發行所 鳥取縣鳥取市東町
鳥取縣氣高郡大正村大字古海
鳥取縣鳥取市西支所